

いけがみ

令和3年 11月 30日
和泉市立池上小学校
校長 松田昌生

【学校教育目標】 人間性豊かな心身ともにたくましい社会人になるための基盤を育成する

《めざす子ども像》 ○考える子 ○やさしい子 ○元気な子

〒594-0083 和泉市池上町三丁目14番45号 TEL 0725-45-3840 FAX 0725-45-3850

なが〜い はし

児童朝礼で子どもたちに紹介したお話です。

ある時、お釈迦様が地獄にいる人と極楽にいる人の様子をご覧になりました。初めに地獄の方をご覧になりました。ちょうど食事の時間でした。合図の音が鳴ると、地獄の人たちは「腹がへった、腹がへった」と言いながら食堂に集まってきました。どの人も顔色が悪く、ひよろひよろにやせていました。席につくと一人一人に、はしが渡されました。手で食べてはいけないのです。ところが、そのはしは、ずいぶん長くて1mくらいありました。次にたくさんのごちそうが出てきました。地獄の人たちはワッとばかりわれ先にと食べ始めようとしました。しかし、はしが長いので急げば急ぐほど思うように食べ物をはさむことができません。せっかくはさんでも自分の口に持ってくるまでにボロボロこぼれてしまうのです。ワイワイガヤガヤあせればあせるほど食べられません。中にはひじがぶつかったとか、押すなど言って隣の人とケンカする人も出てきました。やがて食事の時間が終わりました。食べ物は、まだいっぱい残っています。でも時間が来るとさっさと片づけられ、戻っていかねければなりません。お釈迦様は、地獄の人がみんなやせてひよろひよろしているわけがよくわかりました。

次に極楽の食事はどうかとご覧になりました。極楽でも同じように長いはしが渡されました。同じようにごちそうが出されました。ところがどうでしょう。極楽の人たちは、ゆっくりと長いはしで食べ物をつまみ、それを自分の口に持ってくるのかというところではないのです。テーブルに向かい合っている人の口へもっていくのです。つまり相手の人に食べさせてあげ、自分も相手の人から食べさせてもらうという食べ方です。食事の時間も地獄と同じでしたが、ごちそうは残ることなく食べてしまいました。お釈迦様は、極楽の人たちが満足で、いつもにこにこしながら仲良く暮らしているわけがよくわかりました。

子どもたちには、お釈迦様が「よくわかった」こととは何かを考えさせたいお話でした。

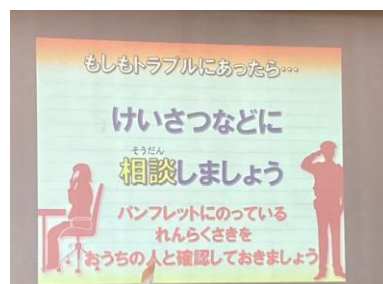
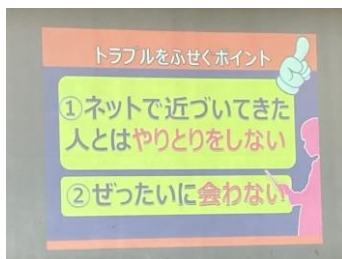
【マラソン朝礼】



体力づくりのため「マラソン朝礼」を実施しています。

1・3・5年生は（火）（木）、2・4・6年生は（水）（金）にそれぞれ5分間走っています。

【ケータイ・スマホ教室】



KDDIの方に来ていただいて、スマホは便利な道具ではあるが、使い方を間違えば、人とのトラブルや課金の問題、危険な事件に巻き込まれることがあるのだと教えていただきました。

【ITS 咲かせ隊 研修会】



池上小・幸小・富秋中の地域の方々と教員からなる「ITS 咲かせ隊」の研修会がありました。自衛隊の方に来ていただいて「南海トラフ地震」や「防災」のことについてお話を伺いました。救助ロープの使い方も紹介してもらいました。